

令和元年7月19日

西部農林振興センター 益田事務所 農業普及部

標 題	<p>益田市西部地域に「協同組合水神森」が設立！！</p> <p>～協同の理念のもと広域連携活動の実践に向けて～</p>
-----	--

(ダイジェスト)

6月21日(金)、「協同組合水神森」の設立総会が盛大に開催されました。

当法人は当面、益田市西部農事組合法人連携協議会(以下、連携協議会)等から借り受けた機械を利用して、組合員等から受託を受けた大豆収穫や堆肥散布の作業を行います。

J A西いわみ管内では「わくわくつわの協同組合」に次ぐ2番目の広域連携法人で、事業協同組合の形態としても県内で「わくわくつわの協同組合」に次ぐ2番目となり、今後の事業展開に期待が寄せられています。

益田市西部地域の集落営農法人では転作作物として大豆栽培に取り組む中で、高額な機械の更新負担や高齢化による機械オペレータ不足といった課題解決に向けて、平成29年に連携協議会(任意組織)を設立し、大豆コンバインの共同購入、共同利用、オペレータの相互補完の取り組みが開始されました。

今後の更なる機械更新や事業展開を見据える中、任意組織では利益の内部留保ができないこと等から作業受託を行う実動組織としてこの度、「協同組合水神森(法人組織)」が設立されることになりました。設立総会には関係機関の他、近隣の組織や土地利用型の認定新規就農者(2名)も招き、盛大に開催されました。

当法人は、①作業受託事業(大豆収穫19.3ha、堆肥散布10.0ha)、②機械の保守整備事業(機械整備技術の向上)、③人材育成事業(機械オペレータの育成)、④福利厚生事業(先進地視察等)の4つの事業を柱として活動していく計画です。

法人名の「水神森」は、同地域(横田・安富)の農地に匹見川の水を巡らす地理的な中心地にある「水神の森」に由来し、今後、この農地を潤す広域連携法人として活躍することが期待されます。

普及部は、益田市担い手支援センター集落営農チーム(市、J A、農業公社、普及部)の一員として当法人の事業計画の実施に向けて支援していきます。



益田市横田町にある水神森



協同組合「水神森」設立総会